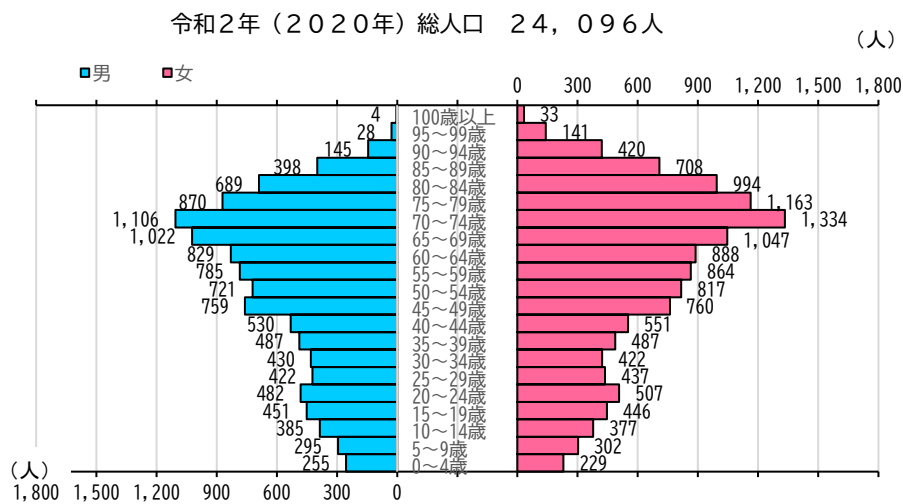
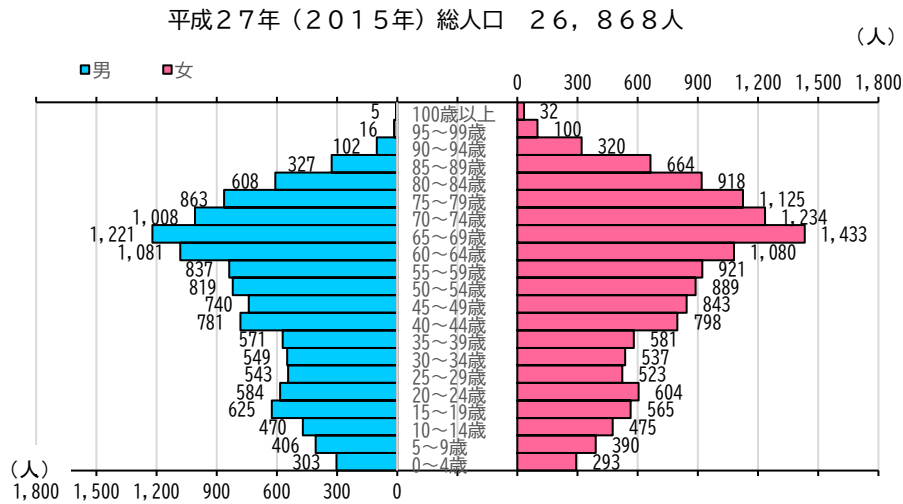
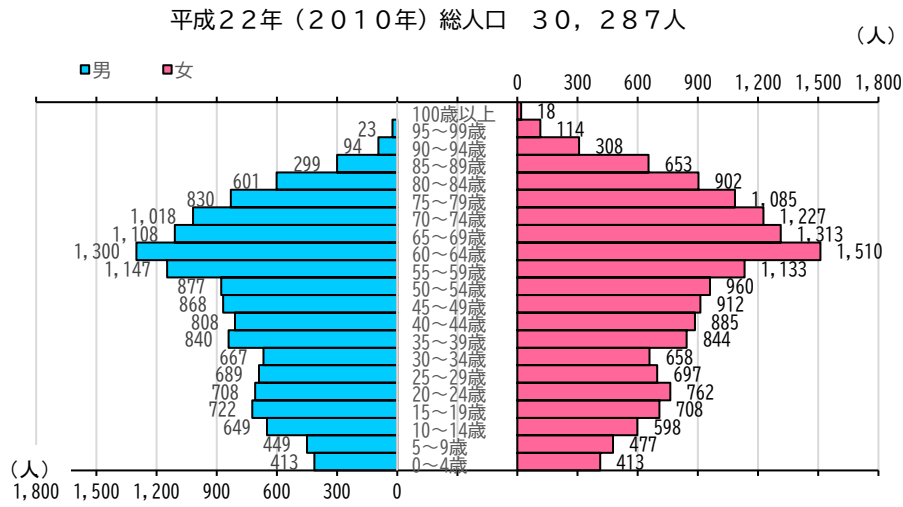


II. 人口動態

統計からみた御所市のすがた 令和7年度改訂版

1. 人口

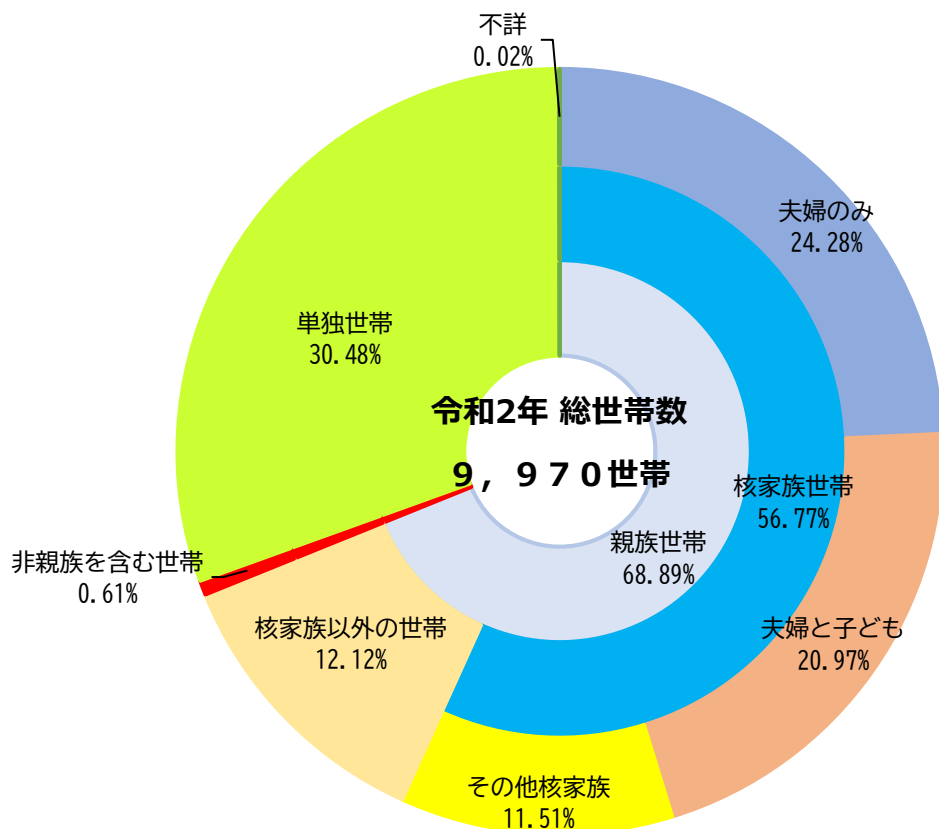
■人口ピラミッド（5歳階級別）



出典：総務省統計局『平成22年、平成27年、令和2年 国勢調査』を基に作成

1. 人口

■世帯の類型別割合



データから読み取る

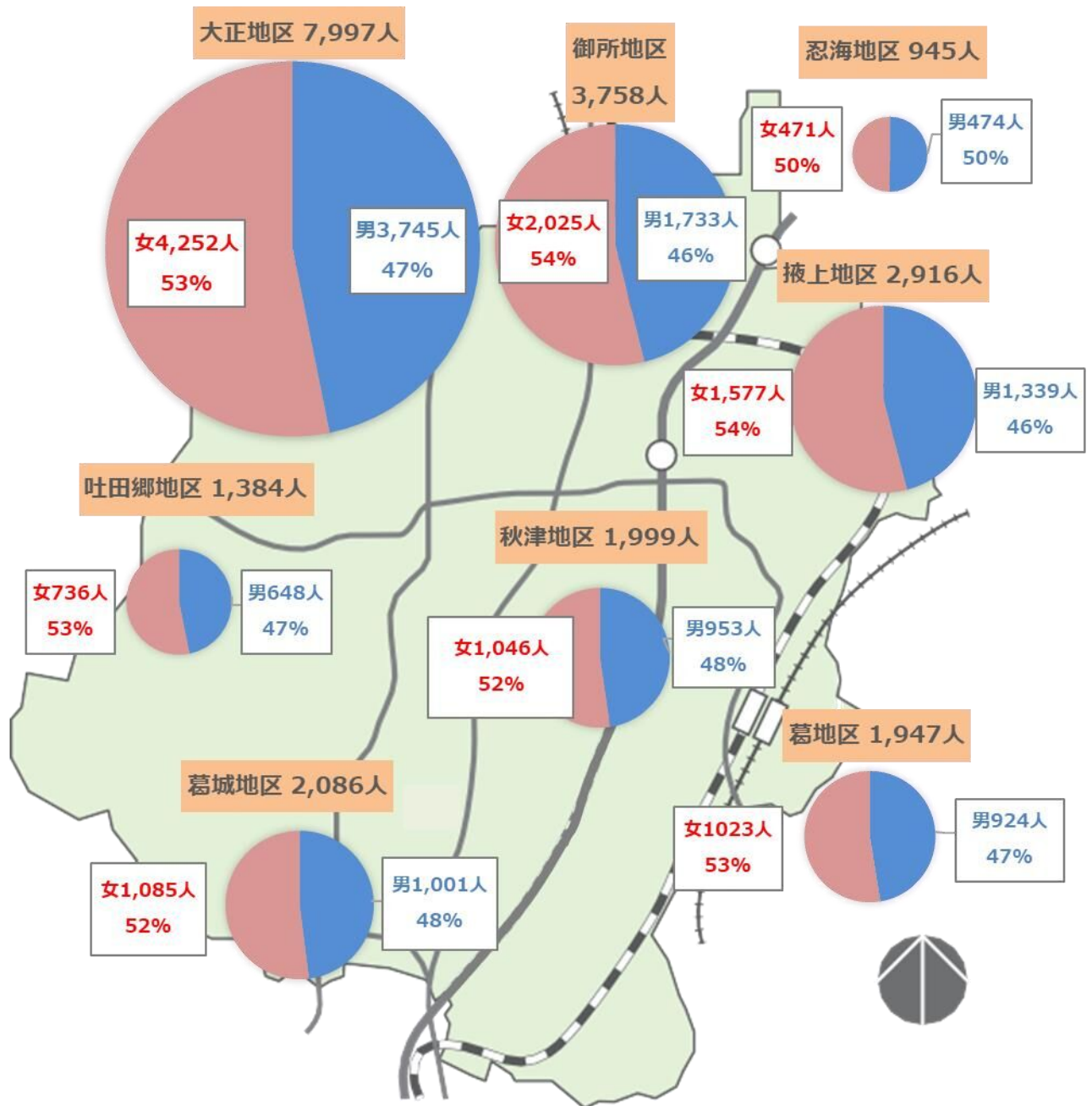
御所市の世帯を類型別に円グラフで表しています。
 単独世帯が全世帯のおおよそ3割を占めています。
 また、核家族世帯が過半数を占め、核家族以外の親族世帯の約4倍以上となっています。

		世帯数割合 (%)			
親族世帯	核家族世帯	夫婦のみ	68.9	56.8	24.3
		夫婦と子ども			21.0
		その他核家族			11.5
	核家族以外の世帯	12.1	12.1		
非親族を含む世帯		0.6	0.6	0.6	
単独世帯		30.5	30.5	30.5	
不詳		0.0	0.0	0.0	
総数		100.0	100.0	100.0	

出典：総務省統計局『令和2年 国勢調査』を基に作成

1. 人口

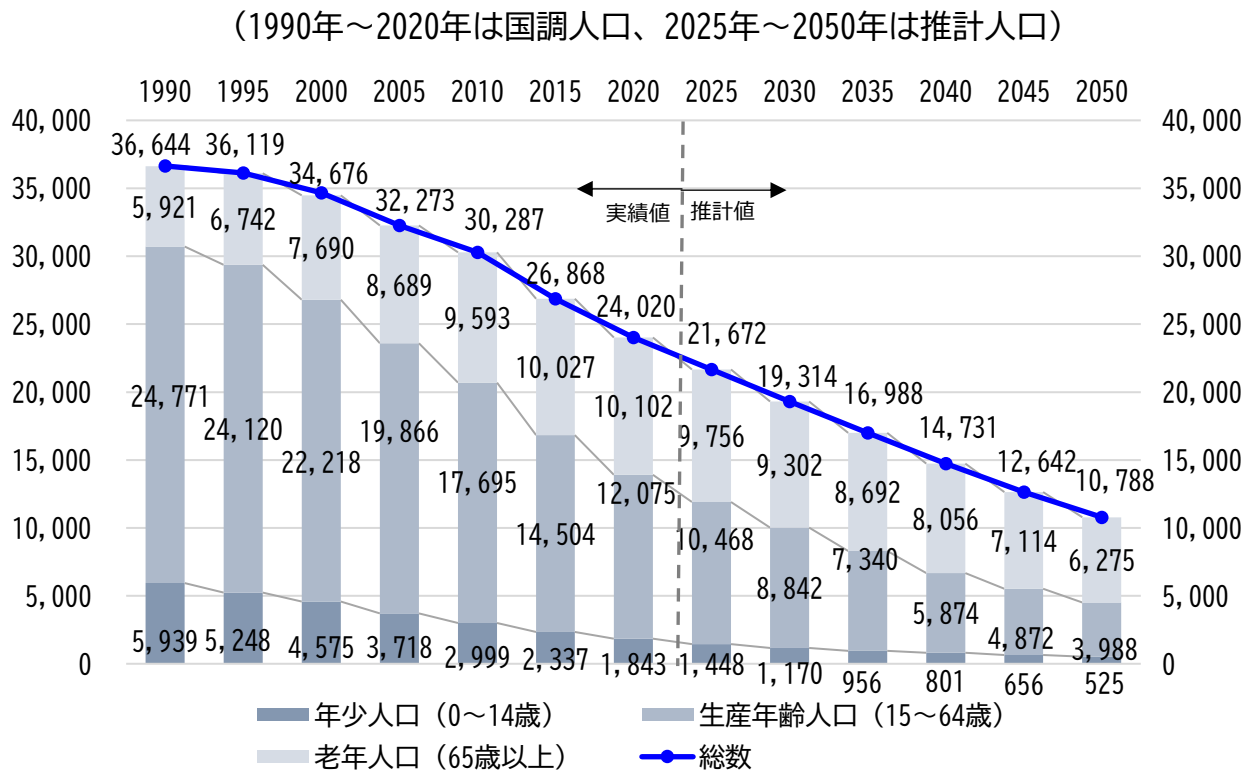
■地区別人口(令和7年2月末)



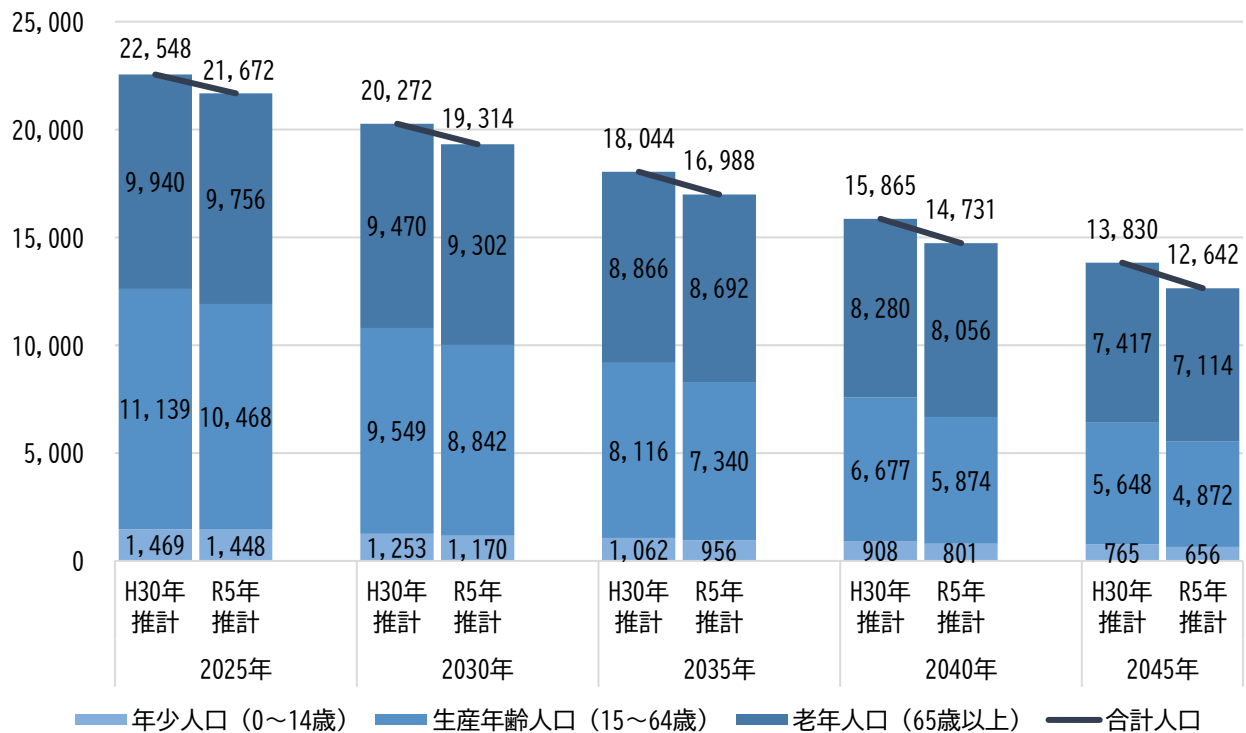
出典：御所市市民課保有資料を基に作成

1. 人口

■年齢（3区分）別人口の推移



■推計人口の比較（平成30年推計と令和5年推計）

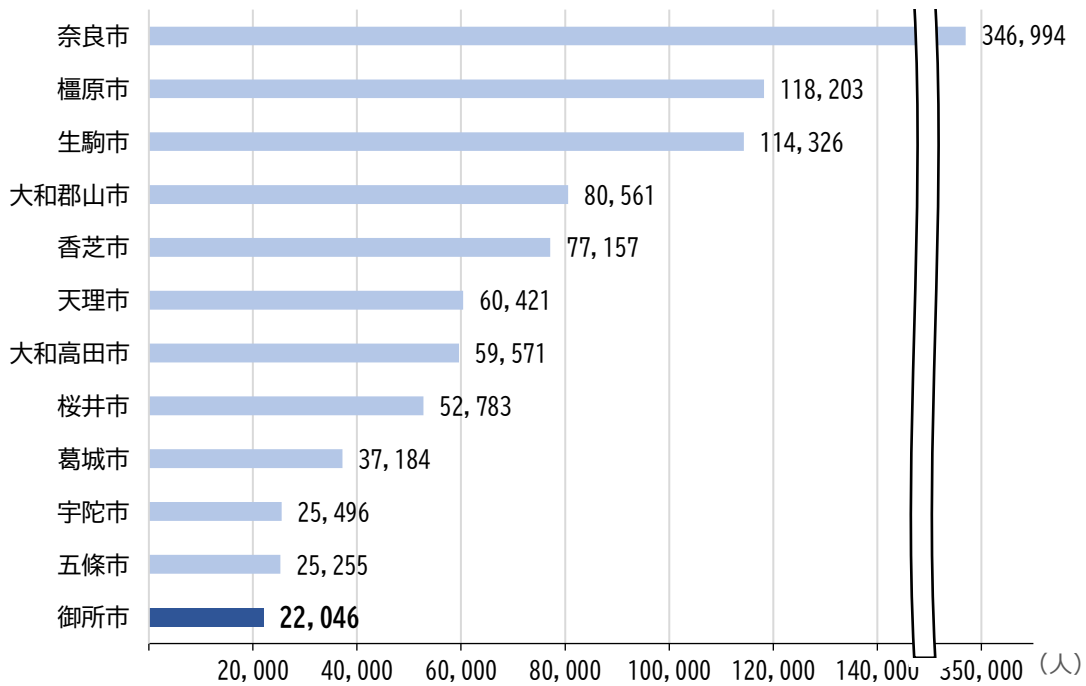


出典：総務省統計局『令和2年 国勢調査』及び国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）』を基に作成

1. 人口

■県内12市 推計人口グラフ（令和7年1月1日現在）

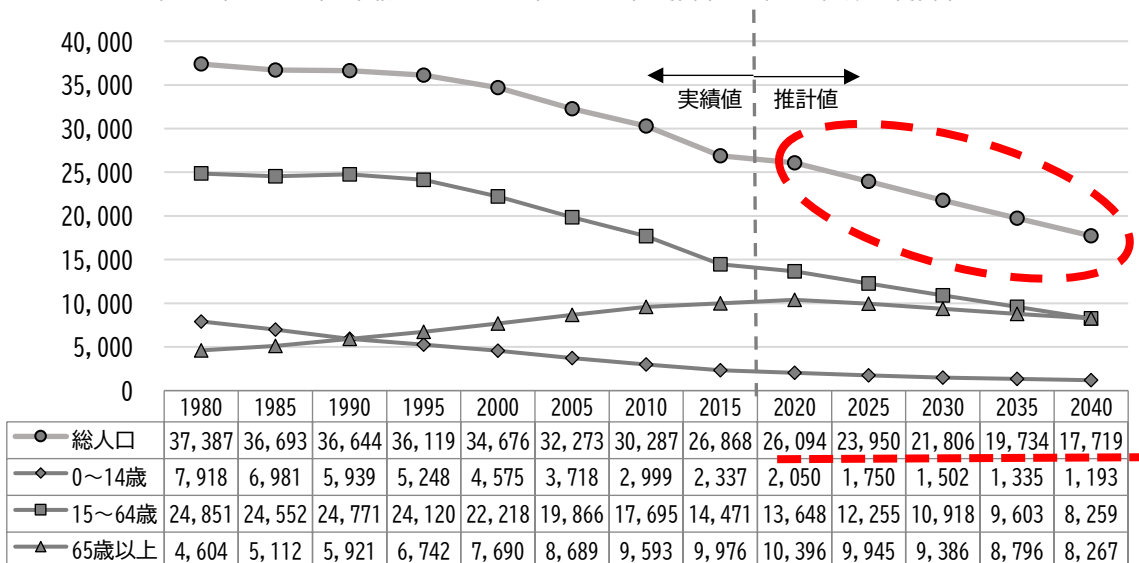
※推計人口・・・国勢調査を基礎として、毎月の出生・死亡・転入・転出を加減して算出された推計値をもととした人口数



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（月報）』を基に作成

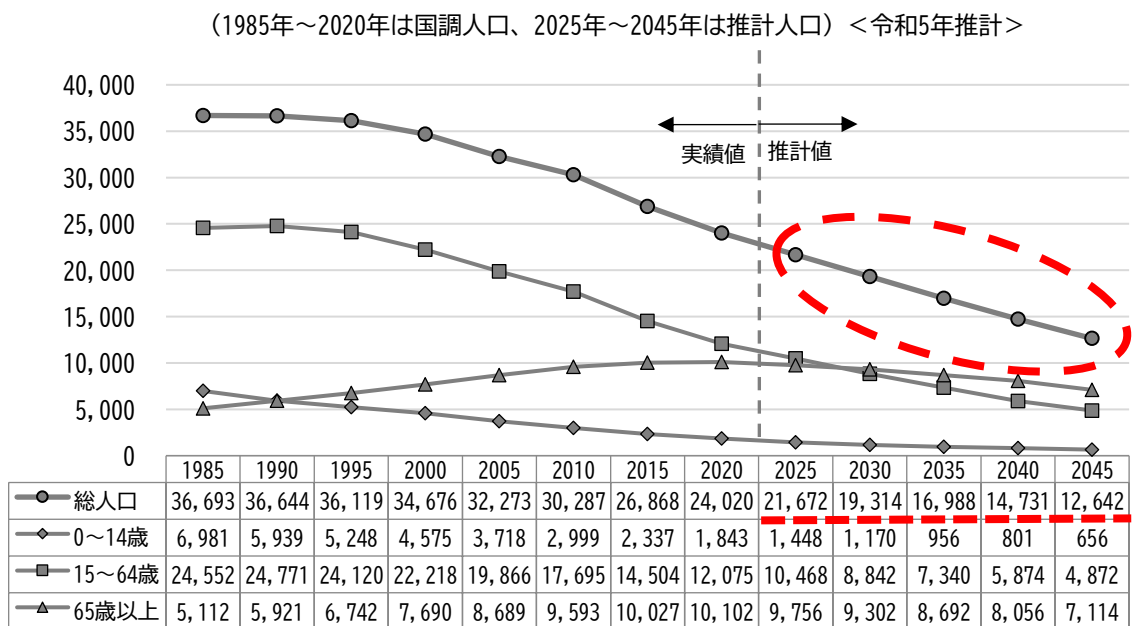
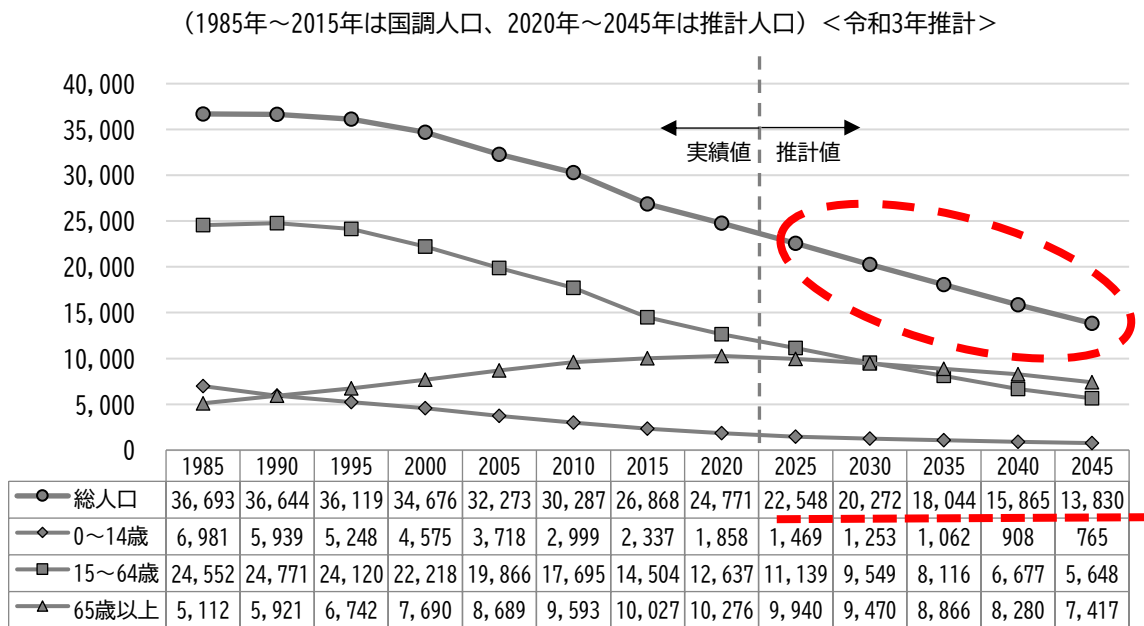
■人口推移の変化について（年齢3階層別）

（1980年～2015年は国調人口、2020年～2040年は推計人口）＜平成30年推計＞



1. 人口

■人口推移の変化について（年齢3階層別）



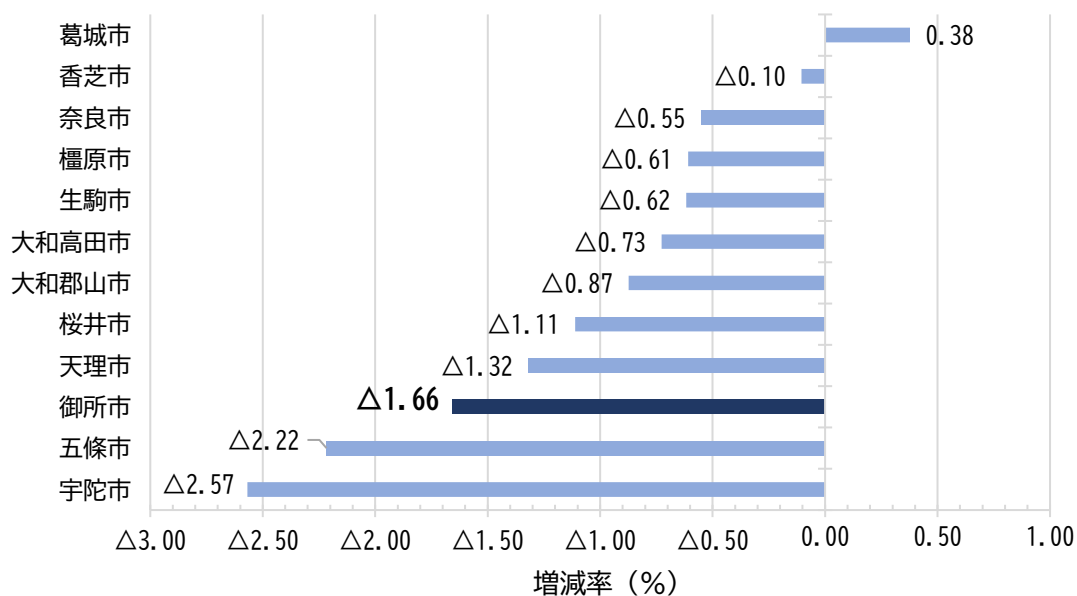
出典：総務省統計局『令和2年 国勢調査』（実績値）及び国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）（令和3年推計）（令和5年推計）』（推計値）を基に作成

データから読み取る

推計人口グラフの平成30年分・令和3年分・令和5年分を比較してみます。総人口が15,000人を下回る時期が令和3年分では2045年頃だったのが、令和5年分では2040年頃となっています。推計値ではありますが、データが新しくなるごとに推計人口が大きく減っています。

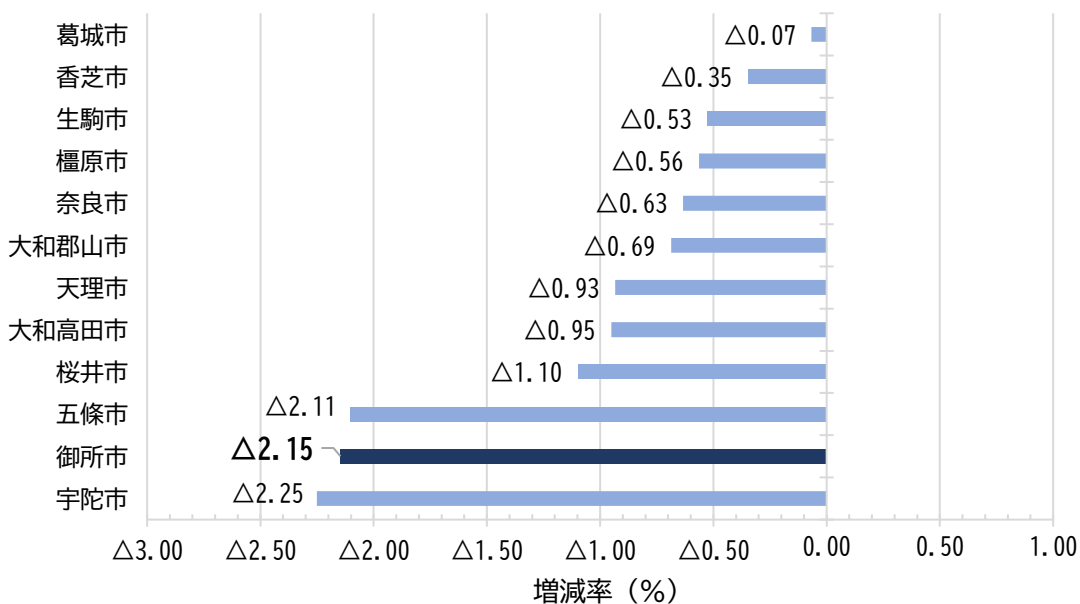
1. 人口

■県内12市 人口増減率（令和5年－令和4年）



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和5年』を基に作成

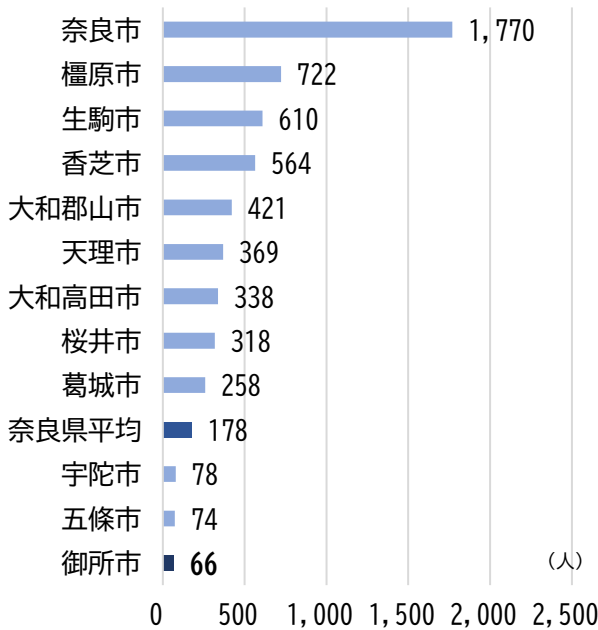
■県内12市 人口増減率（令和6年－令和5年）



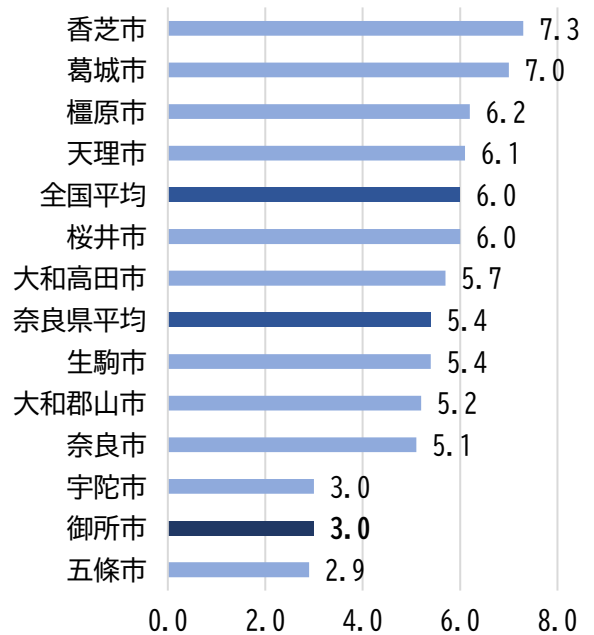
出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和6年』を基に作成

2. 出生

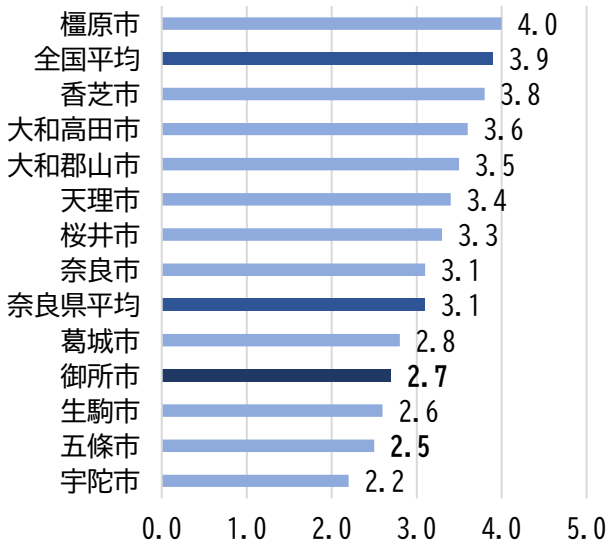
■県内12市 出生数比較（令和5年）



■県内12市 出生率比較（令和5年）

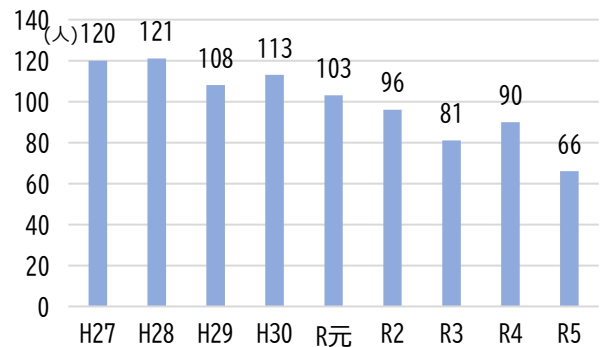


■県内12市 婚姻率比較（令和5年）



データから読み取る

令和5年の出生数・出生率を比較すると、下位の3市は同じ市で、いずれも過疎地域となっています。御所市の出生数は平成30年と令和4年が前年比増となった以外は減少傾向です。

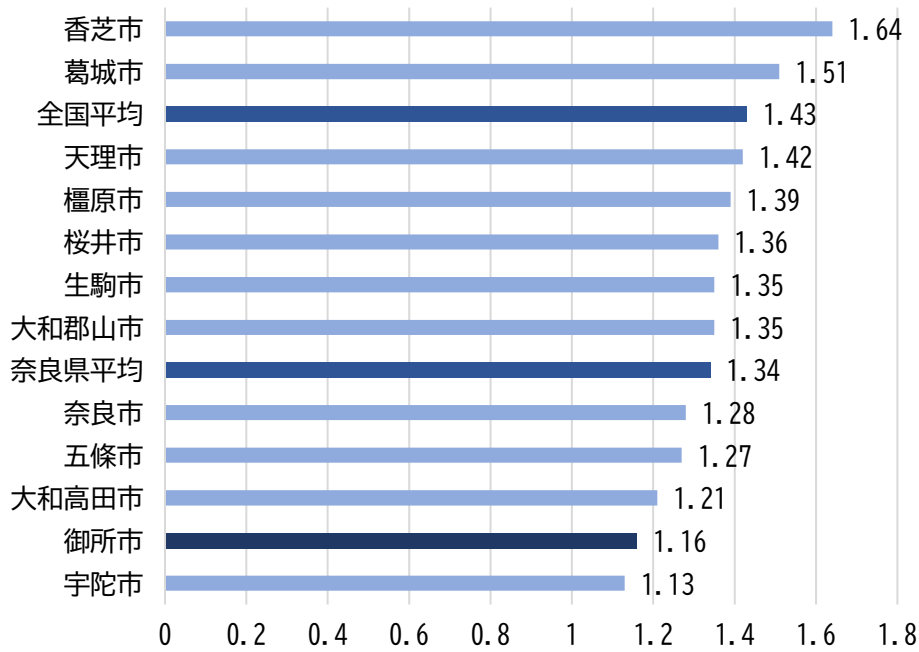


出典：奈良県地域医療連携課『人口動態統計（令和5年確定数）』及び厚生労働省『令和5年（2023）人口動態統計（確定数）の概況』を基に作成

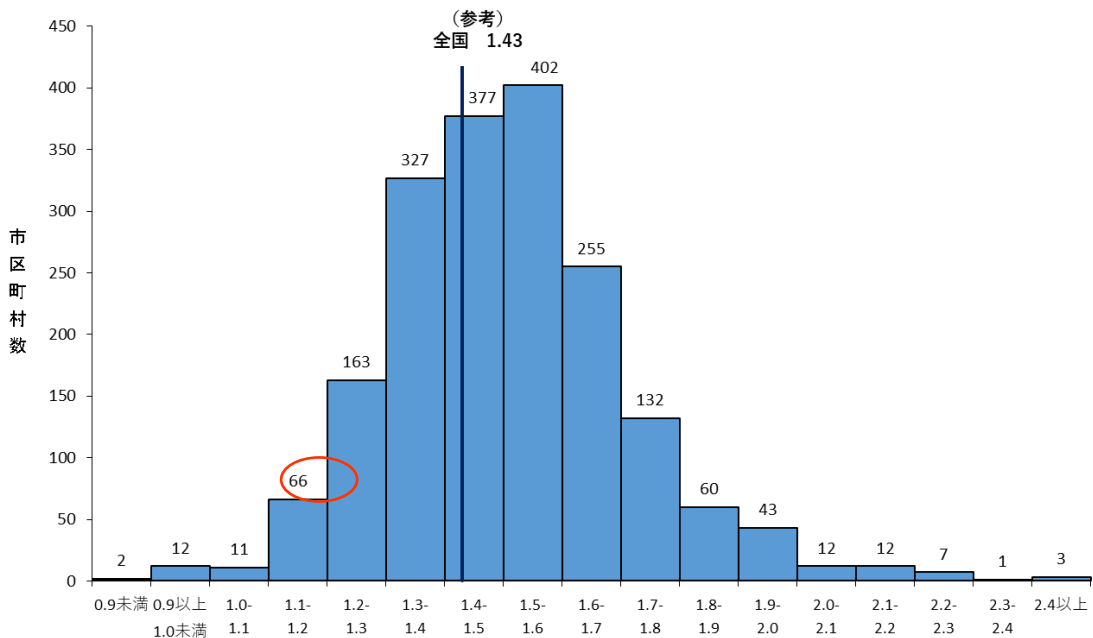
2. 出生

■県内12市 合計特殊出生率（平成25年～平成29年）

※合計特殊出生率：一人の女性が、その年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数を表し、15歳～49歳の女性の年齢ごとの出生率を合計した数値。2.07が人口維持の目安。



■全国市区町村別 合計特殊出生率（平成25年～平成29年分布図）



出典：厚生労働省『平成25年～平成29年 人口動態保健所・市区町村別統計の概況』及び『平成30年(2018) 人口動態統計の年間推計』を基に作成

2. 出生

■都道府県別 合計特殊出生率順位（令和5年）

沖縄県	1.60	1
長崎県	1.49	2
宮崎県	1.49	3
鹿児島県	1.48	4
熊本県	1.47	5
奈良県	1.21	36
全国平均	1.20	
栃木県	1.19	37
大阪府	1.19	38
岩手県	1.16	39
埼玉県	1.14	40
千葉県	1.14	41
神奈川県	1.13	42
京都府	1.11	43
秋田県	1.10	44
宮城県	1.07	45
北海道	1.06	46
東京都	0.99	47

データから読み取る

合計特殊出生率の分布図では、御所市は下位に位置し、厳しい状況にあることがわかります。

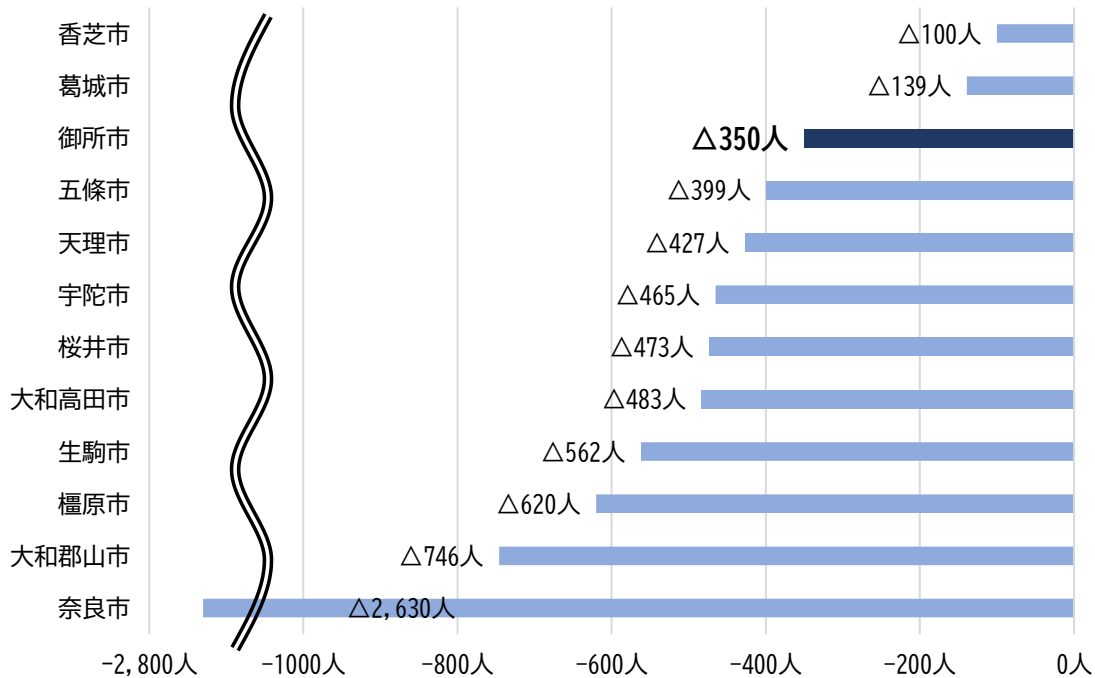
令和5年の都道府県別 合計特殊出生率において、全国平均を上回っているのは36県となっており、奈良県はわずかに全国平均を上回っています。御所市だけでなく、奈良県も同じく合計特殊出生率が低いという問題を抱えています。

出典：厚生労働省『平成25年～平成29年 人口動態保健所・市区町村別統計の概況』及び『令和5年(2023) 人口動態統計の年間推計』を基に作成

3. 人口の増減

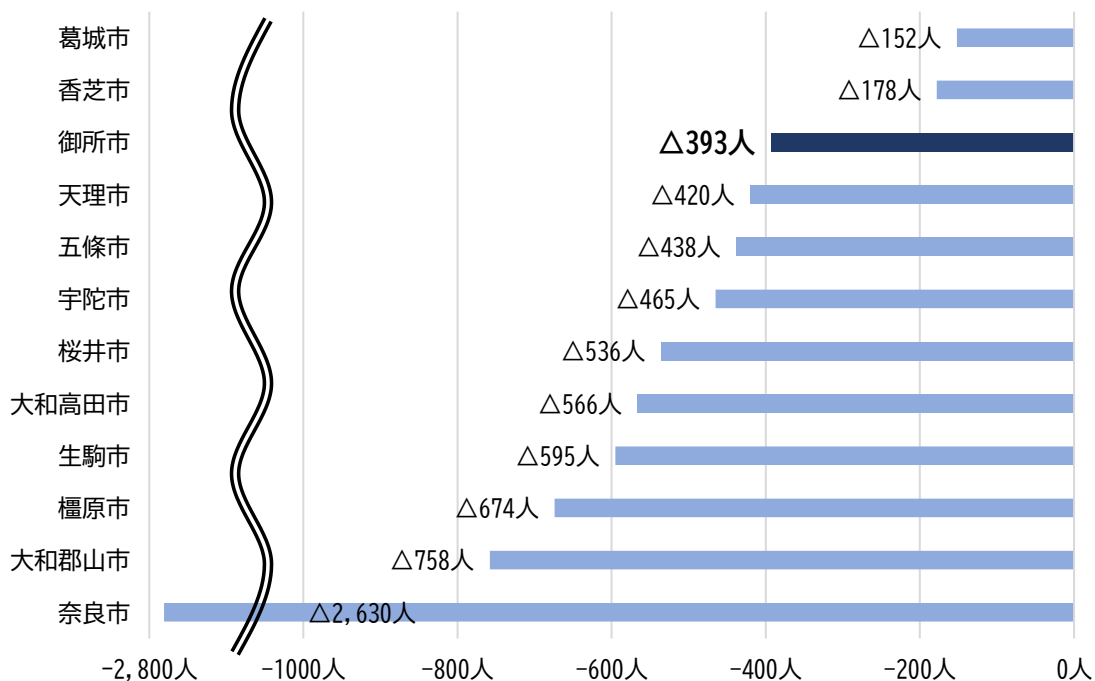
■県内12市 人口自然増減数比較（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

※自然増減：出生と死亡による人口の増減



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和5年』を基に作成

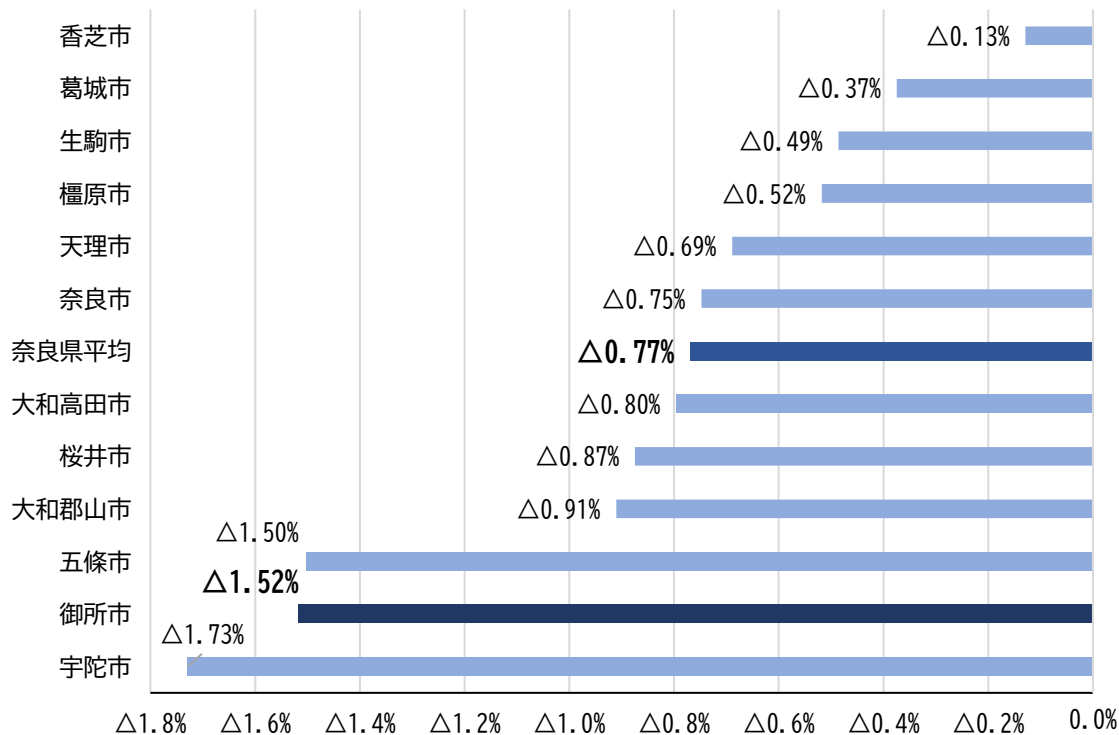
■県内12市 人口自然増減数比較（令和5年10月1日～令和6年9月30日）



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和6年』を基に作成

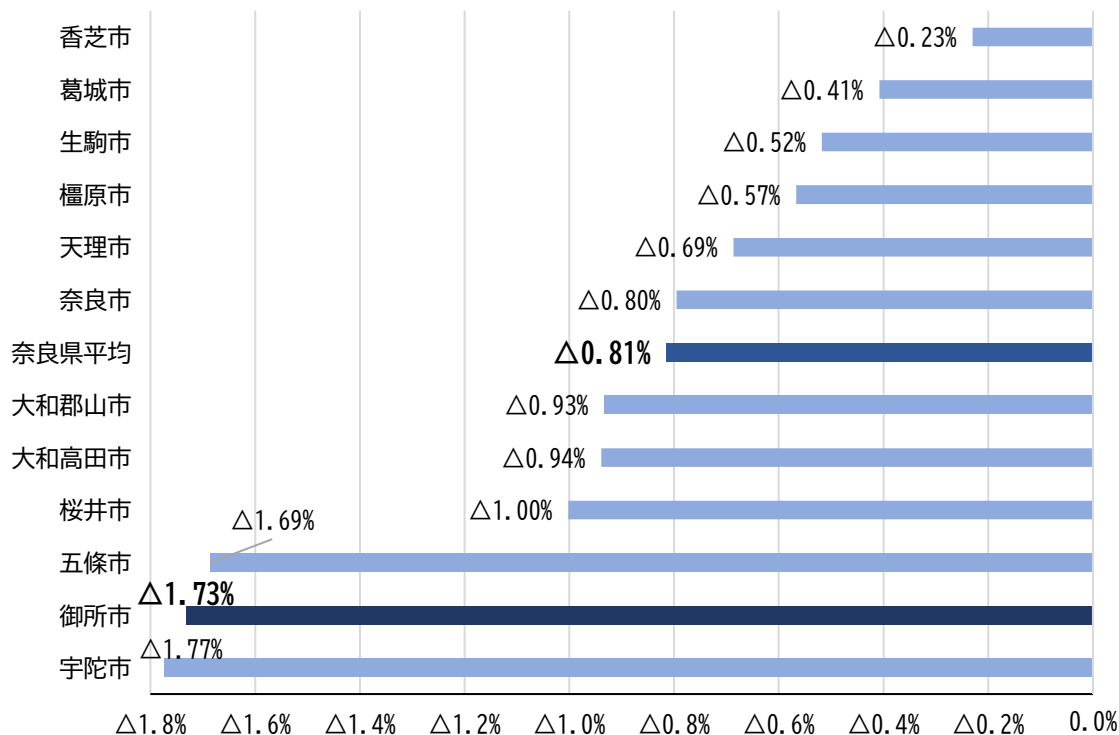
3. 人口の増減

■県内12市 自然増減率比較（令和4年10月1日～令和5年9月30日）



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和5年』を基に作成

■県内12市 自然増減率比較（令和5年10月1日～令和6年9月30日）



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和6年』を基に作成

3. 人口の増減

■県内12市 社会増減数比較（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

※社会増減：転出・転入による人口の増減



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和5年』を基に作成

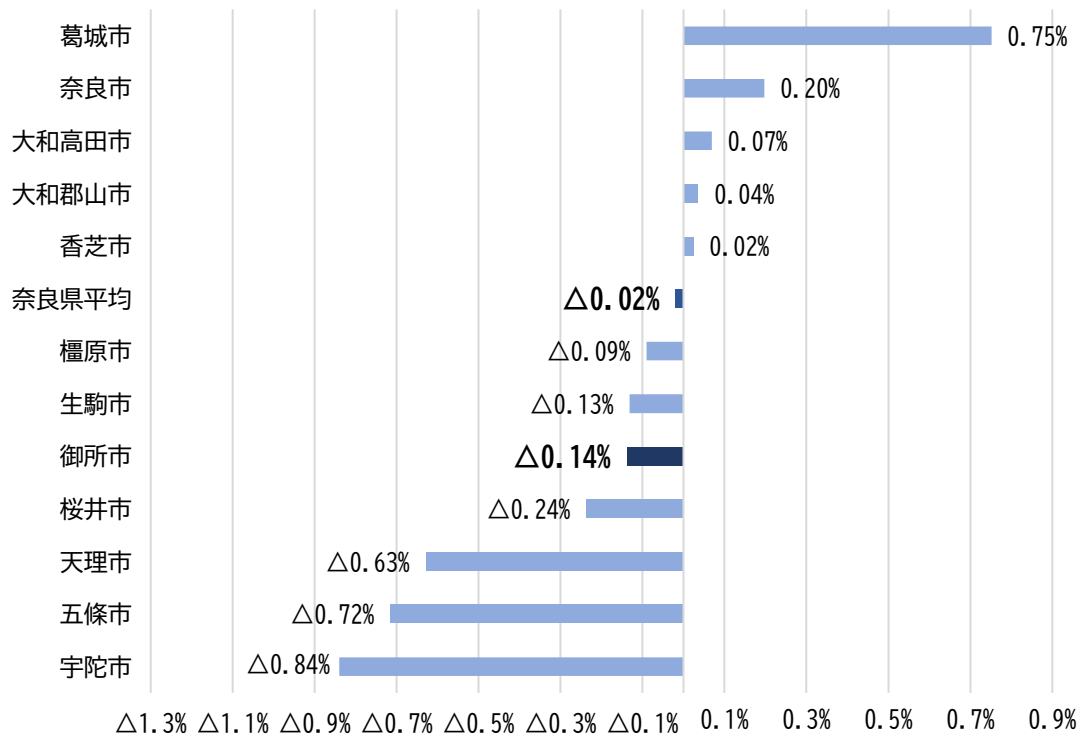
■県内12市 社会増減数比較（令和5年10月1日～令和6年9月30日）



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和6年』を基に作成

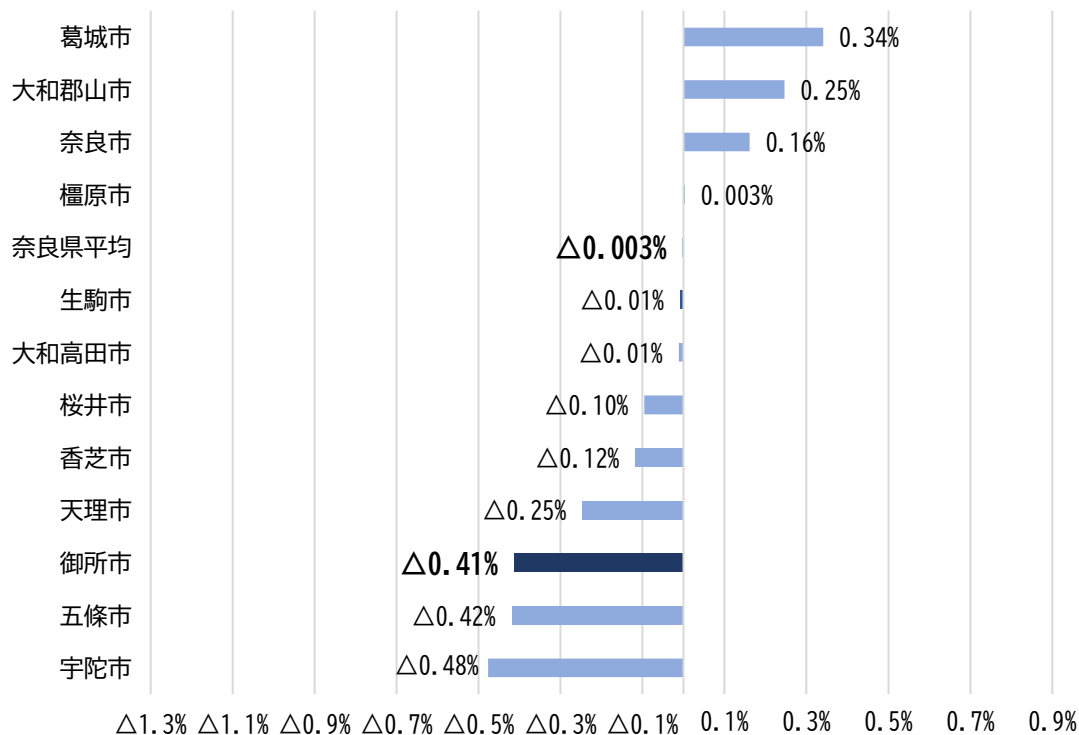
3. 人口の増減

■県内12市 社会増減率比較（令和4年10月1日～令和5年9月30日）



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和5年』を基に作成

■県内12市 社会増減率比較（令和5年10月1日～令和6年9月30日）



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和6年』を基に作成

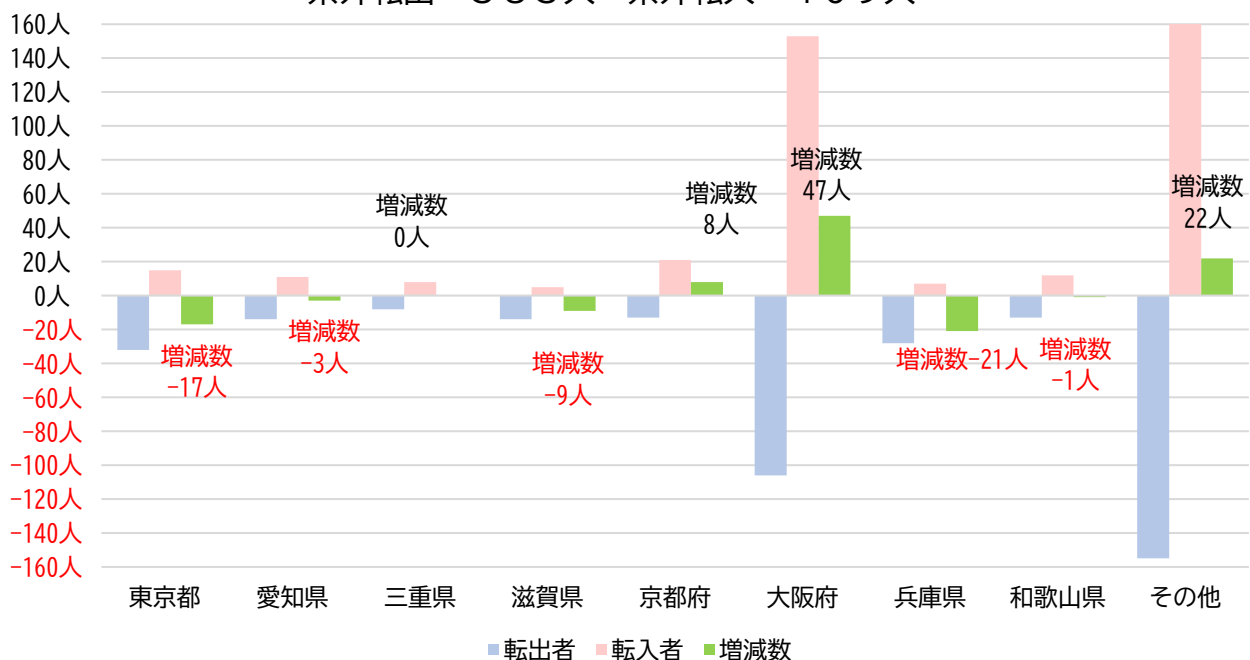
4. 人口の移動

■人口移動について（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

県内転出：341人 県内転入：283人



県外転出：383人 県外転入：409人



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和5年』を基に作成

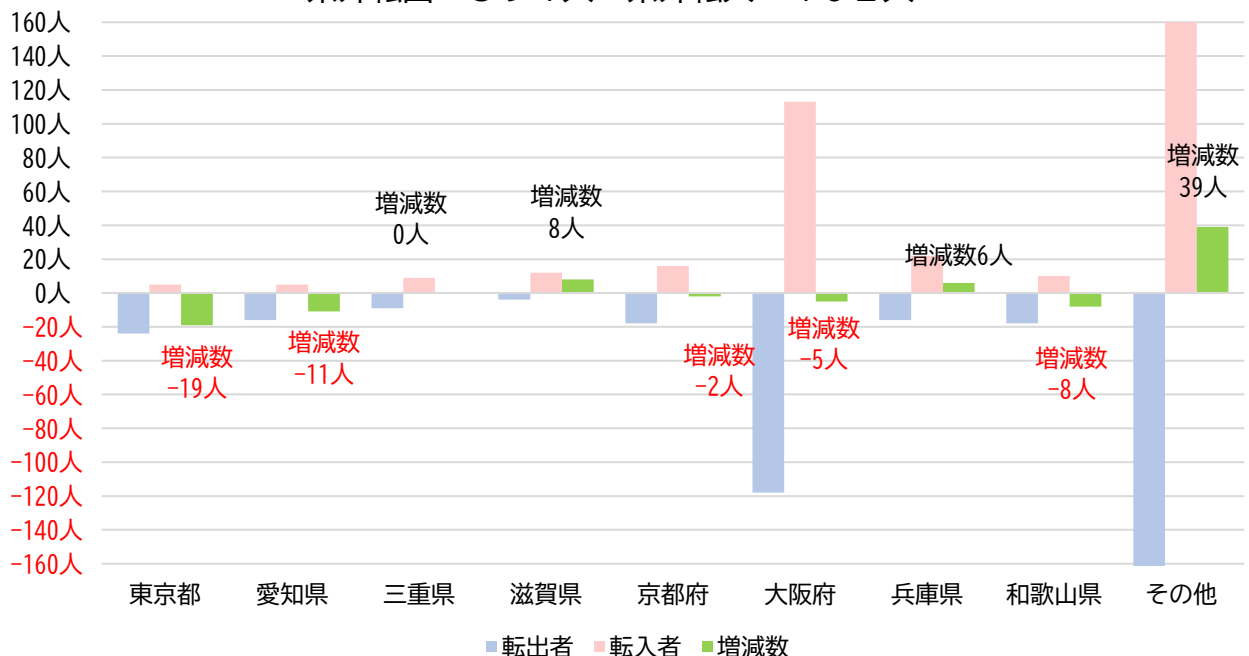
4. 人口の移動

■人口移動について（令和5年10月1日～令和6年9月30日）

県内転出：384人 県内転入：282人



県外転出：394人 県外転入：402人



出典：奈良県政策推進課『奈良県の推計人口調査（年報）令和6年』を基に作成

データから読み取る

『令和4年10月1日～令和5年9月30日』の期間の人口移動を見ると、御所市から県外への転出者数より県外からの転入者数が上回っていることが分かります。